

市川市東山魁夷記念館 令和3年度通常展「風景画家 東山魁夷のあゆみ I 風景開眼」 1F 出品目録

東山魁夷は東京美術学校日本画科で結城素明に師事、1929(昭和4)年、第10回帝展に初入選し、画壇への一步を踏み出しました。戦後、風景画家として立つことを決めた魁夷は、生涯の師である素明から授かった「心を鏡のようにして自然を見ておいで」という言葉を深く心に刻み、自然との対話を重ねることで独自の画境を拓き、平明な画面からなる風景のなかにも、深い精神性を宿す心象の世界を構築しました。  
このたびの通常展は、東山魁夷にとって生涯の師とされる結城素明に因む東京美術学校時代の資料、そして自然との対話から生まれた作品世界を通して、東山魁夷の風景画家としての開眼への道のりを辿ります。

2021(令和3)年5月29日(土)～8月1日(日)



	年	備考		年	備考
《秋風行画卷》(大下図)	1952(昭和27)	コンテ・紙、卷子装	特待生選定証(昭和4年4月11日) <複製>		東京美術学校
《秋風行画卷》	1998(平成10)	複製画・紙、卷子装 東京国立近代美術館蔵	両親にあてた葉書(昭和4年4月11日付)	1929(昭和4)	
《川の畔り》	1923(大正12)頃	紙本彩色、額装	両親にあてた手紙(昭和3年4月16日付)	1928(昭和3)	
両親にあてた手紙	1926(大正15)		教員免許状(昭和6年5月20日) <複製>		文部省
『丹青指南』	1926(大正15)	市川守静編 東京美術学校々友会	母親にあてた手紙(昭和4年5月16日付)	1929(昭和4)	
《白梅》	1933(昭和8)頃	紙本彩色、額装	教練皆勤証(昭和4年3月23日) <複製>		東京美術学校
『風景との対話』	1967(昭和42)	新潮社	父親にあてた手紙(昭和4年5月頃)	1929(昭和4)	
師・結城素明にあてた手紙(昭和10年6月20日付)	1935(昭和10)		父親にあてた手紙(昭和4年7月5日付)	1929(昭和4)	
『現代作家デッサン』	1956(昭和31)	芸艸堂	川端奨学資金賞(昭和6年3月24日) <複製>		東京美術学校
『森と湖の国—東山魁夷北欧画集—』	1963(昭和38)	美術出版社	《青春回顧画卷》<複製>		原画:1938年 加藤栄三・東一記念美術館蔵
『京洛四季』	1969(昭和44)	新潮社	『僕の留学時代』	1998(平成10)	日本経済新聞社
『東山魁夷全集第6巻 ドイツ、オーストリアの旅』	1979(昭和54)	講談社	山の手帖(スケッチブック)	1937(昭和12)頃	
『日本の美を求めて』	1976(昭和51)	講談社	弟にあてた葉書「バラバルト」	1939(昭和14)	
『唐招提寺への道』	1975(昭和50)	新潮社	『日本畫の研究』	1930(昭和5)	44名共著 アトリエ社
携帯用絵具箱			『特別展 結城素明—その人と芸術—』	1985(昭和60)	山種美術館
東山魁夷使用の岩絵具			アルバム「結城素明展」	1985(昭和60)	
孔雀石、藍銅鉱、岩絵具(群青)			結城素明絵手本	制作年不明	紙本淡彩
膠、「絵具の溶き方」			《雪山の写生》※結城素明 画	1940(昭和15)	紙本彩色、額装
胡粉、イタボガキ、ホタテ			《梅に鶯》※結城素明 画	制作年不明	紙本彩色、額装
「小下図・大下図について」			《高原秋色》(小下図)	1936(昭和11)	紙本彩色
			《虹》(小下図)	1937(昭和12)	紙本彩色
			書「自然は心の鏡」	制作年不明	紙本墨書、額装

\*都合により展示資料が変更となる場合もありますので、ご了承ください。

市川市東山魁夷記念館 令和3年度通常展「風景画家 東山魁夷のあゆみ I 風景開眼」 2F 出品目録

2021(令和3)年5月29日(土)～8月1日(日)

木版画 木材を版に用いた凸版画。  
 リトグラフ 石版画。近年ではアルミ等の金属の版が用いられる。油と水の反発を利用した平版画。  
 セリグラフ 絹を版に用いたためシルクスクリーンとも言う。インクの通過する穴と通過しない部分を作った版を用いた孔版画。  
 ビュツグラフ 筆のタッチや画材の質感をデジタルプリントでリアルに表現するセイコーエプソン㈱のデジタル印刷技法。  
 複製画 特殊印刷等による複製。

\*都合により展示作品が変更となる場合もありますので、ご了承ください。

No.	作品名	制作年	技法・材質・形状	画寸(cm)	備考
1	残雪の山 ざんせつのやま	昭和20年代	紙本彩色、額装	24.5×28.5	
2	漁村 ぎよそん	1956(昭和31)	木版画・紙、額装	21.3×16.5	原画:漁村(スケッチ) 1955年
3	リスと栗 りすとくり ◇	制作年不明	紙本墨画、軸装	47.5×62.0	◇加藤栄三・東山魁夷 合作
4	伊豆米若山荘にて いずよねわかさんそうにて ◇	1947(昭和22)	紙本淡彩、軸装	32.7×53.3	◇加藤栄三・神谷道緒・寿々木米若・山田申吾・東山魁夷 合作
5	水辺 みずべ	1943(昭和18)頃	絹本彩色、額装	26.6×23.6	
6	残照 ざんしょう	1997(平成9)	リトグラフ・紙、額装	43.5×60.6	原画:残照 1947年 東京国立近代美術館蔵 (151.5×212.0cm)
7	たにま	1999(平成11)	木版画・紙、額装	47.8×37.8	原画:たにま 1953年 東京国立近代美術館蔵 (134.0×107.4cm)
8	光昏 こうこん	1977(昭和52)	複製画・紙、額装	50.8×37.7	原画:光昏 1955年 日本藝術院蔵 (181.7×136.4cm)
9	外房風景 そとぼうふうけい	1955(昭和30)頃	紙本彩色、額装	16.5×30.3	* 寄託作品
10	夕照(習作) せきしょう(しゅうさく)	1956(昭和31)	紙本彩色、額装	36.8×45.8	
11	秋径 しゅうけい	1991(平成3)	セリグラフ・紙、額装	33.0×45.8	原画:秋径 1958年 (63.0×88.1cm)
12	秋翳 しゅうえい	1996(平成8)	リトグラフ・紙、額装	43.4×45.5	原画:秋翳 1958年 東京国立近代美術館蔵 (160.0×167.6cm)
13	青響 せいきょう	1982(昭和57)	複製画・紙、額装	43.3×68.5	原画:青響 1960年 東京国立近代美術館蔵 (133.0×212.0cm)
14	夕汀 せきてい	1942(昭和17)	絹本彩色、額装	48.7×56.6	
15	道(試作) みち(しさく)	1950(昭和25)	絹本彩色、額装	57.2×42.0	
16	静日 せいじつ	1950(昭和25)頃	絹本彩色、軸装	35.4×51.0	
17	初紅葉 はつもみじ	1995(平成7)	リトグラフ・紙、額装	32.8×44.8	原画:初紅葉(習作)1964-66年 長野県立美術館 東山魁夷館蔵 (32.8×45.3cm)
18	潮音 ちょうおん	1995(平成7)	セリグラフ・紙、額装	31.5×53.0	原画:潮音 1966年 (123.8×212.0cm)
19	月篋 げっこう	1991(平成3)	木版画・紙、額装	43.0×60.0	原画:月篋 1967年 東京国立近代美術館蔵 (115.4×160.6cm)
20	月涼し つきすずし	1994(平成6)	リトグラフ・紙、額装	36.0×50.0	原画:月涼し 1970年 北澤美術館蔵 (33.0×46.0cm)
21	夕静寂 ゆうせいじやく	1994(平成6)	木版画・紙、額装	44.1×30.5	原画:夕静寂 1974年 長野県立美術館 東山魁夷館蔵 (227.0×158.0cm)
22	春兆 しゅんちよう	1988(昭和63)	木版画・紙、額装	30.6×42.2	原画:春兆 1982年 長野県立美術館 東山魁夷館蔵 (130.0×180.0cm)
23	明宵 めいしょう	1994(平成6)	リトグラフ・紙、額装	34.5×50.0	原画:明宵 1984年 (38.0×55.0cm)
24	春映 しゅんえい	1997(平成9)	リトグラフ・紙、額装	37.6×53.1	原画:春映 1989年 公益財団法人吉野石膏美術振興財団蔵 (63.0×88.0cm)
25	緑の湖畔 みどりのこはん	2005(平成17)	リトグラフ・紙、額装	46.2×62.8	原画:緑の湖畔 1991年 ポーラ美術館蔵 (54.0×73.0cm)
26	夕紅 ゆうくれない	1999(平成11)	木版画・紙、額装	35.5×51.0	原画:夕紅 1996年 長野県立美術館 東山魁夷館蔵 (81.0×116.0cm)

※E.A. エプルーブアルティスト(epreuvé'artiste・仏語)の略。作者保存用の意。 ※H.C. オール・コメルス(hors commerce・仏語)の略。非売品の意。